

第2期調布市特別支援教育推進計画 概要版

1 策定の経緯

教育委員会では、「子ども一人一人を大切に
する教育の実現」を目指し、「調布市特別支援
教育全体計画」を平成25年に、「調布市特別
支援教育全体計画【改訂版】」を平成28年に策
定し、平成31年には、調布市基本計画・調布
市教育プランを踏まえ、「調布市特別支援教育
推進計画」(以下、「前期計画」という。)を策定
し、特別支援教育を推進してきました。

この間、特別支援教育を取り巻く社会状況は
大きく変化しており、前期計画が終了することか
ら、第2期調布市特別支援教育推進計画(以
下、「第2期計画」という。)を策定しました。策定
にあたり、前期計画の成果と課題を明らかに
し、前期計画の基本理念を継承しながら、体系
を、「**学校の在り方**」、「**教職員の在り方**」、「**連携
の在り方**」、「**環境の在り方**」の4つに見直すこと
としました。



2 国・都の主な動向

- ㊦令和3年1月
中央教育審議会答申 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
- ㊦令和3年4月
高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正
- ㊦令和3年9月
医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律施行
- ㊦令和4年3月
東京都特別支援教育推進計画(第二期)第二次実施計画策定

3 前期計画に係る取組の成果と課題

主な成果

- 【方向性1】小・中学校段階における特別支援教育の充実
 - 校内通級教室を小・中学校全校に整備
 - 特別支援学級・校内通級教室ガイドラインの作成
- 【方向性2】特別支援教育を推進する体制の整備・充実
 - 特別支援学級・校内通級教室担当教員への研修実施、調布市小・中学校特別支援教育研究会への支援
 - GIGAスクール構想による全児童・生徒へタブレット端末配付
- 【方向性3】保護者等、地域及び関係機関との連携の充実
 - 教育シンポジウムの開催等を通じた市民・保護者への周知

主な課題

- 【方向性1】
 - 個別指導計画の作成率の向上
 - 特別支援学級(知的障害)の市全体のバランスを考慮した配置計画の検討
- 【方向性2】
 - すべての教員等の専門性向上
- 【方向性3】
 - 保護者への就学前からの卒業後を見据えた情報提供

通常の学級において、特別な支援が必要な児童・生徒のうち、「スクールサポーター等の外部支援による対応」、「通級による指導」及び「知的障害学級相当の指導」が必要な児童・生徒の数に対する個別指導計画の作成率
(上段:小学生,下段:中学生)

目標値 (R4年度)	基準値 (7/29調査時)	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度
90%	76.5%	76.5%	78.1%	84.3%	90.8%
90%	53.7%	53.7%	57.4%	65.8%	62.8%



施策の体系図

★：新たな取組

